

「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会発言要旨
—安心部会—

開催日：平成23年7月6日（水） 13：00～15：00

場 所：トキハ会館5F ローズ

出席委員： 安東委員 大山委員 小野委員 金井委員
河村委員 坂本委員 佐藤委員 高橋委員
辻野委員 松田委員 村上委員 渡邊委員

- 母子、父子家庭数や、経済的困窮などの指標を追加したらどうか
- 高齢者の生きがいづくりには、中堅層の時から余暇活動ができる社会のしくみづくりが大切ではないか
- 高齢者の生きがいづくりの指標として、活動や学習の指標を入れたらどうか
- 障がい者の就労について就業率などの指標を設けたらどうか
- 若い世代がボランティアや地域活動の体験できる組織づくりが必要ではないか
- ボランティアのコーディネート率など、人材を育成した後の稼働率や活動率を指標に追加したらどうか
- 自殺対策の推進の指標として自殺者数を指標に入れたらどうか
- フロンガスなどの回収率の指標ではなく、CO2削減に関する指標にしたらどうか
- 食育の指標として、県産品の消費率（全体、一人当たり）を追加したらどうか
- 交通事故死亡者数は24時間以内の死者数が適切か検討してはどうか。長いスパンの指標も検討が必要ではないか。